

出会うことで人が動き出し、ともに未来を変える

～穏やかなエンディングをみんなで～

第1回東大阪プロジェクト研修会

緩和ケア 研修会

司会



東大阪プロジェクト代表
福村雄一(司法書士)



かわベクリニック院長
川邊正和

講演



早期緩和ケア大津秀一クリニック院長
大津秀一 先生

参加費 **無料**

定員200名

日時

2020年12月12日(土)
18:00~20:00

会場

オンライン(Zoom)

URL・ID・パスコードは参加申し込み後
お知らせいたします

テーマ

早期緩和ケア

× 共に支える × 繋ぐ存在

茨城県出身。岐阜大学医学部卒業。日本緩和医療学会緩和医療専門医、日本老年医学会専門医、総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、がん治療認定医。2006年度笹川医学医療研究財団ホスピス緩和ケアドクター養成コース修了。内科専門研修後、ホスピス・在宅・ホームなど、様々な医療機関で老年医療、緩和ケア及び終末期医療を実践。東邦大学大森病院緩和ケアセンター長を経て、早期緩和ケアの普及・実践のため、2018年8月に遠隔診療を導入した早期緩和ケア(診断時やがん治療中からの緩和ケア及びがんに限らない緩和ケア)外来専門クリニックをさががけたとして設立。著書に『死ぬときに後悔すること25』(新潮文庫)、『間違いだらけの緩和薬選び』(中外医学社)、『世界イチ簡単な緩和医療の本』(総合医学社)などがある。

事例発表



訪問看護ステーションリール管理者
北村愛美 看護師

精神科病院、急性期病院で病棟看護師として従事。その後、自身の生まれ育った東大阪市上小阪の地に、2016年7月「訪問看護ステーションリール」を夫と開業。弊ステーションは、ターミナルケア、看取り、精神疾患看護(身体合併含む)に力を入れており、笑うことで生まれる幸福感、これをひき出す関りところのケアに視点をおき、物語によりそうことを大切にしている。

特別出演



葛西医院院長
小林正宜 先生

1953年の開院以来、地域に根付いて医療を行っている「葛西医院(かっさいいいん)」。初代院長の小林愛次郎先生、2代目院長の小林将秀(まさひで)先生に次いで、2018年7月からは将秀先生の息子、小林正宜(まさのり)先生が院長となり、患者に寄り添う診療を行っている。地域の高齢化に伴い、近年は訪問診療にも注力。「いつも患者さんの心に“寄り添う”診療」をモットーにしている。

主催：東大阪プロジェクト

QRイベントページ
貼付け予定

参加申込書

12月6日までに必要事項をご記入のうえFAXまたはメールによりお申し込みください。お申込みいただいた方には後日メールにてZoomのURL・ID・パスコードを送信いたします



06-6728-2020



higashiosaka.project@gmail.com

氏名	
フリガナ	
所属	
職種	
電話	
E-mail (必須)	

演者情報

大津秀一先生



小林正宜先生



北村愛美看護師



福村雄一先生



川邊正和先生



お問い合わせ：070-8313-7075 (訪問看護ステーションリール 北村大治)